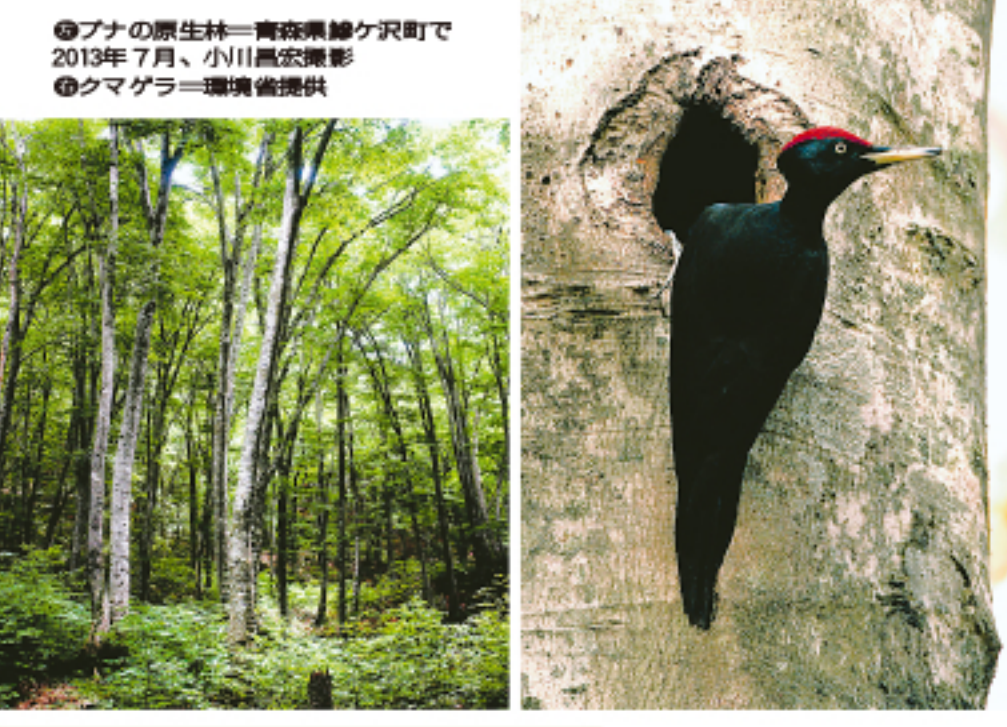


次代へ継ぐ 命の循環

唯一無二 自然の「宝庫」



●プナの原生林＝青森県津軽町で2013年7月、小川眞宏撮影
●クマガイ＝環境省提供

白神山地 (青森県、秋田県)
1993年登録 1万6971㉔

原始の姿 森の博物館

プナ林が約3000万年前に北極圏周辺で分布していた状態に近い姿で維持されている地域。プナ原生林の規模は世界最大級。日本海からの湿った空気が流れ込む豪雪地帯で、氷河期の生き残りと言われる「アオモリマンテマ」など500種以上の植物が確認されている。プナを中心とした生態系は「森の博物館」と呼ばれ、希少なイヌワシやクマガイなど94種の鳥類、約2000種の昆虫類が生息する。

日本の世界自然遺産



●ヤバルクイイ沖縄県津原町で2010年3月撮影。イヌワシやクマガイなど希少な動物が生息する。環境省提供
●黒熊の生息地。2015年10月撮影。イヌワシやクマガイなど希少な動物が生息する。環境省提供



奄美・沖縄 (鹿児島県、沖縄県)
2021年登録 4万2698㉔

大陸から隔離 固有種多く

九州から台湾に連なる琉球列島の一部で、約200万年前までにユーラシア大陸から切り離された。生息する絶滅危惧種35種のうち、イリオモテヤマネコやヤバルクイイなど固有種が75種を占める。4島24カ所を推薦地としたことが「生態系保全に不適切」として18年に登録延期が勧告されたが、推薦地を集約するなど対策を講じ、21年に推薦の登録となった。

世界遺産

1972年に国連教育科学文化機関（ユネスコ）総会で採択された世界遺産条約に基づき、普遍的な価値がある遺跡や歴史的建造物、自然環境を人類全体の財産として保護する制度。自然遺産登録の条件は、自然美▽地形・地質▽生態系▽生物多様性——の四つの評価基準のうちのいずれかを満たすことなど。国際自然保護連合（IUCN）が条件に合致するかを評価し、登録の可否をユネスコ世界遺産委員会に勧告する。

知床 (北海道)
2005年登録 7万1100㉔

海と陸が育む生態系

海水ができる海域として、世界で最も低緯度にあるオホーツク海の沿岸域に位置する。海水によってもたらされる大量のプランクトンは魚類や海鳥類、鯨類などの海洋生物を育み、海から川にさかのぼるサケはヒグマなどの餌に。プランクトンが食物連鎖の出発点となり、海と陸が一体となった生態系が広がる。オオワシなどの希少種の存続に不可欠な場所にもなっている。

2005年7月、ユネスコの世界自然遺産に登録された。【野木隆】

小笠原諸島 (東京都)
2011年登録 7939㉔

独自の進化 今も

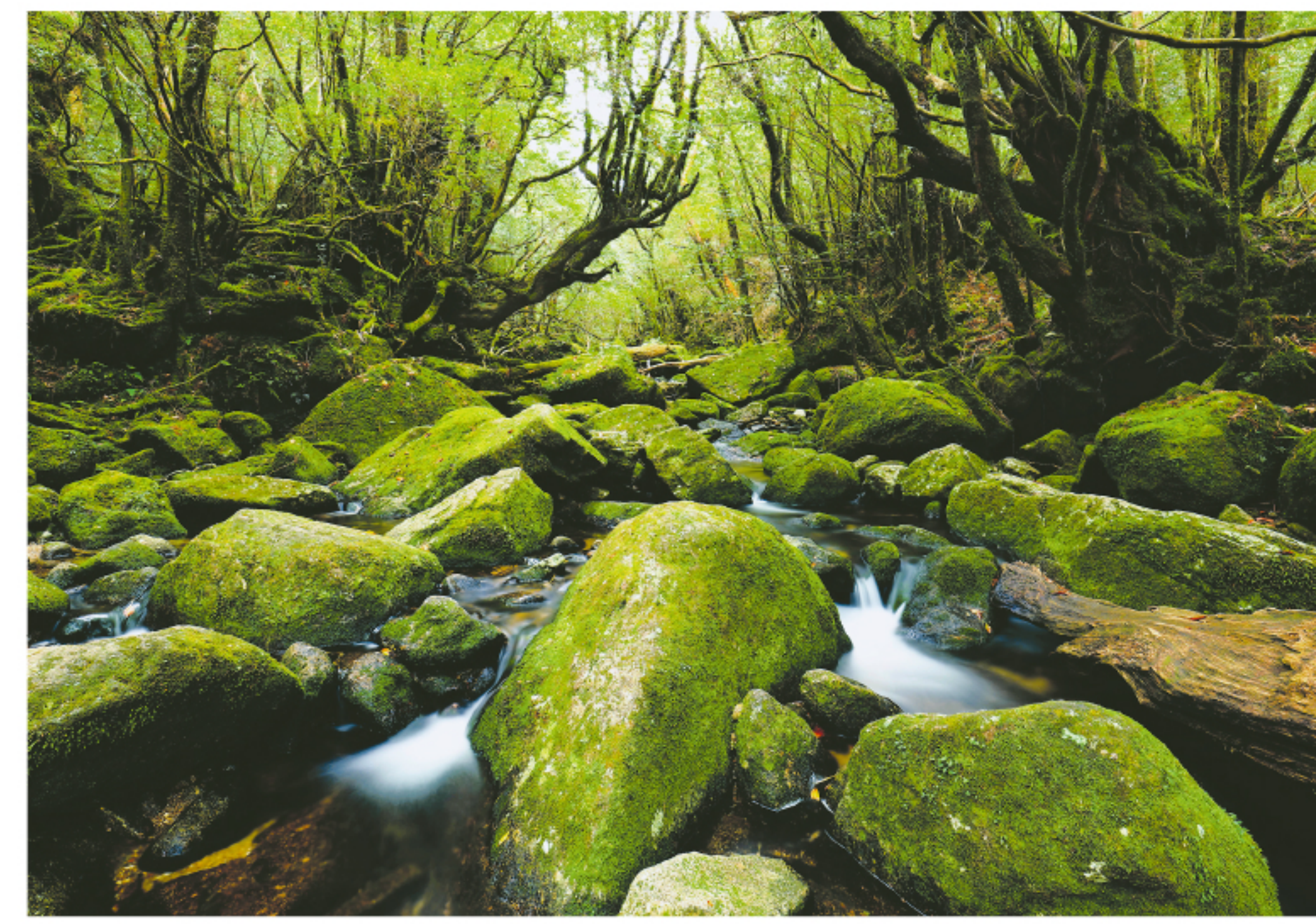
東京から南に約1000km、紺碧の海と切り立った断崖に囲まれる。一度も大陸と陸続きにならず、風や海流で島に定着した生物が隔離された環境で独自の進化を遂げた「固有種の宝庫」。生息する昆虫の約25%、カタツムリの90%以上が固有種だ。島の生物は今も進化を続けており、カタツムリなどでは環境に合わせて形態を変え、同一種から多様な種に分化する「適応放散」もみられる。

【田中】

屋久島 (鹿児島県)

2009年7月、ユネスコの世界自然遺産に登録された。【野木隆】

半透明の体を持つオガサワラオカモノアラガイ＝東京・小笠原諸島母島で2011年6月
●南島（手前）と父島＝2007年4月、本社機から撮影

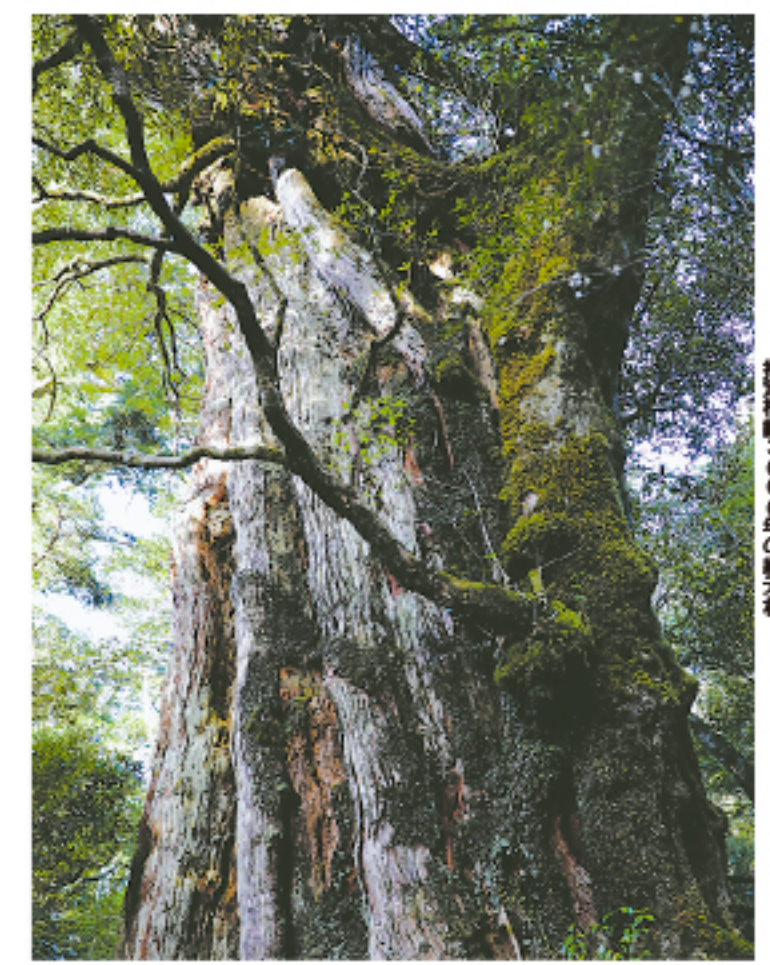


観光と保全 両立模索

「周辺の生き物や照葉樹林を島のあちこちに貴重な生態系が受け継がれている。島全体が世界自然遺産として登録されるべきです」と、鹿児島県屋久島町で生まれ、現在は東京で自然保護活動に従事する鹿嶋さん（38）は、島の自然を大切にしたいという思いを込めて語った。鹿嶋さんは、島の自然を大切にしたいという思いを込めて語った。鹿嶋さんは、島の自然を大切にしたいという思いを込めて語った。

「海沿いの生き物や照葉樹林を島のあちこちに貴重な生態系が受け継がれている。島全体が世界自然遺産として登録されるべきです」と、鹿児島県屋久島町で生まれ、現在は東京で自然保護活動に従事する鹿嶋さん（38）は、島の自然を大切にしたいという思いを込めて語った。鹿嶋さんは、島の自然を大切にしたいという思いを込めて語った。

「海沿いの生き物や照葉樹林を島のあちこちに貴重な生態系が受け継がれている。島全体が世界自然遺産として登録されるべきです」と、鹿児島県屋久島町で生まれ、現在は東京で自然保護活動に従事する鹿嶋さん（38）は、島の自然を大切にしたいという思いを込めて語った。鹿嶋さんは、島の自然を大切にしたいという思いを込めて語った。



ヤクシマタゴガエル
ヤクシマミヤマスミレ
白谷雲水峡
縄文杉
土居久島空港
世界自然遺産登録地域